

# 小児看護学実習

単  
位  
数

2

時  
間  
数

90

3年次 5月～10月開講

## I. 目的

小児期にある対象の成長発達段階を理解し、健康障害のある子どもに応じた看護が実践できる能力を養う。

## II. 目標

1. 子どもの成長発達段階を理解する。
2. 健康障害のある子どもの看護上の問題を抽出し目標設定できる。
3. 健康障害のある子どもの看護が実践できる。
4. 看護活動の評価ができる。
5. 子どもの安全を守るための援助を理解する。
6. 子どもをとりまく保健医療福祉メンバーの役割と連携の必要性がわかる。

## 実習評価

出席状況、実習内容、実習記録、実習態度を総合的に評価する。

## 学習上の留意点

この科目の受講にあたっては、以下の前提科目の履修が要件となる。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 基礎看護学実習 2 | 小児看護学方法論 1 |
| 小児看護学概論   | 小児看護学方法論 2 |
|           | 小児看護学方法論 3 |